

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	ワークショップ3	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	4単位			授業形態	講義
教科書/教材	各回 必要に応じてレジュメ・資料を配布する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	佐藤正樹	実務経験の有無・職種	有・ディレクター		
<b>学習目的</b>					
この科目を受講する学生は、音楽番組や音楽映像作品、そしてバラエティー番組のディレクターでもある講師の実体験に基づく演出の話を中心に、様々な映像表現方法とその発想について考察する。また、これまで講師が制作に携わった作品を中心に、それらの成立事情、時代背景、演出の特徴等を、制作的側面はもちろん、美術・照明・カメラ・音声から編集に至るまでを多角的に解説を受けることにより、受講者の世界観を広げ、映像を多面的にみる力や想像力を養うことを目的とする。					
<b>到達目標</b>					
TV、パソコン、携帯には映像があふれ、映像コンテンツは様々な媒体によって放送・配信されている。この科目では、学生それぞれが、制作・美術・照明・カメラ・音声・編集と専攻は異なれど、映像クリエイティブ業界で活躍する人材となる為に、それぞれの「媒体」で、どのような「作品」を視聴者に届けるのか、その映像表現が創造できるようになることを目標にしている。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	この授業では、映像作品の仕上がるまでの過程や考え方を論じる。実際の映像を鑑賞し、作品制作の現場で使用した企画書や台本等の紙資料を見ながら解説をする場合もある。受講生が、これらの作品と解説をどのように受けとめ、理解しているかを意識しながら、授業を進める。この授業に1年間参加する学生が、様々な映像表現方法の知識を得て、創造力を養い、自ら発信できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、理由のない遅刻や欠席・早退は認めない。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業で使用する紙資料は、その授業内で配布するが、全てその授業内で返却すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	自己紹介/概要	授業の概要を理解する			
2回	音楽番組の考察①	音楽番組を制作する際の考え方、制作意図を理解する			
3回	音楽番組の考察②	音楽番組における楽曲収録の流れを理解する			
4回	音楽番組の考察③	楽曲収録方法とカット割り台本の見方を理解する			
5回	音楽番組の考察④	カット割り台本と実際の映像の関係性を理解する			
6回	音楽映像演出の考察①	音楽番組における映像の様々な演出方法を知る①			
7回	音楽映像演出の考察②	音楽番組における映像の様々な演出方法を知る②			
8回	音楽映像演出の考察③	MV(ミュージックビデオ)における楽曲映像の様々な演出方法を知る①			
9回	音楽映像演出の考察④	MV(ミュージックビデオ)における楽曲映像の様々な演出方法を知る②			
10回	音楽映像演出の考察⑤	MV(ミュージックビデオ)における楽曲映像の様々な演出方法を知る③			
11回	音楽映像制作における美術セット①	音楽映像撮影における様々な美術セットの成り立ちを理解する			
12回	音楽映像制作における美術セット②	美術セットとCG合成の予算と考え方を理解する			
13回	音楽映像制作における美術セット③	デザインの発想について学び、どのように映像に反映しているかを理解する			
14回	音楽映像制作における美術セット④	ワークショップ形式で理解する			
15回	前期のまとめ・復習	前期を総括し、後期の概要を理解する			